

「信用」は約束を守ることから・・・



7月になって3年生の就職活動も本格的に始まり、保健室前の廊下を多くの企業のお客さまが通るようになったり、3年生が面接指導をしている様子を目にしたりするようになりました。その一方で「就職が不安だ」「どんな仕事を選べばいいのかわからない」「自分が働いていけるのか自信がない」という声も保健室で聞くことがあります。



社会で働く上で大切なことはいくつかありますが、そのうちの1つが「信用」だと思います。

「信用」とは相手の行動や言うことを正しい、確かにそうだと思って受け入れることや、信じられる人だと思うことですが、特に仕事をしていく上ではなくてはならないものです。

信用できない人に大切な仕事は任せられないし、信用できない人から何かを買ったり、お金のやりとりをしたりはしないからです。

信用できない人を採用してお金を払おうとする会社はありません。

信用できない人の店や会社から物を買おうとする人はいません。

信用できない人にお金を払うサービス(美容院などもそうですね)を頼む人もいません。

信用できない人に、お金を貸す人もいません。

(ブラックリストにのると、クレジットカードも作れないし、携帯電話の契約ができないこともあります)

みなさんも、何か買うときや何か頼むときにインターネットの口コミを参考にしたことがあると思いますが、口コミも信用をはかる1つの目安にはなっています(全てが信用できるわけではありませんが)。

ではこのように大切な「信用」はどうしたら手に入れることができるのでしょうか？



一般的に信用できる人として一番先に思い浮かぶのは「約束を守る人」です。

立派なことを言う人、難しい話ができる人、明るい人、面白い人、話が上手な人、外見がいい人、元気な人であっても、約束を守らない人は信用されません。

逆に、話をするのがあまりうまくなくても、面白いことが言えなくても、口数が少なくても控えめでも、頼んだことをきちんとやってくれる人、約束を守ってくれる人は信用されることが多いと思います。

では「約束を守る」とはどういうことでしょうか？

1つ目は、「時間を守る」「しめ切りを守る」ということです。

会社に毎日遅刻してくるような人は、信用されません。

お客様と約束した時間に遅刻してくるようでは信用されません。

お客様と約束した期日を守らないようでは信用されません。

それと同時に、きちんと謝れるというのも大切です。

仕事をしている中で、予定通りに進まず、約束を守れないこともできます。

そのときには事前に約束を守れないことを謝罪し、いつまでに約束をはたせるかの目安を伝えましょう。

万が一約束を忘れてしまった、間違えてしまったときには誠意を持って謝ることが大切です。

そのときの態度によって、信用を得ることも失うこともあるからです。



しめ切り
は
守る!

2つ目は「1つ1つの仕事を丁寧にやる」「頼まれた仕事を最後まで丁寧にやる」ということです。たとえ約束の時間を守って来ても、頭はぼさぼさ、服はよれよれ・・・では信用されません。たとえしめ切りを守っても、出来上がったものが汚れていたり、間違っていたり、適当に作ったものでは信用されません。



3つ目は、「相手の話をよく聞く」ということです。相手が何を話したいのか、何を求めているのか、またはただ聞いてほしいだけなのかを、一生懸命聞くことです。橋高生は「コミュニケーションが苦手です」「人と話すのが苦手です」という人が多いけれど、実は相手の話を聞くことが、信用されるためには大切で必要なことなのです。

聞かなければ、自分が何をすべきなのか、何を求められているのかわからないし、こちらの話を全く聞かず、一方的に自分の言いたいことだけを話すような人は信用されないからです。

これを読んで、「むずかしいなあ」「自分は無理だな」「どうしたらいいんだろう」と思った人もいるかもしれませんが、実はあなたが学校で毎日やっていることが、「信用」を得るための練習なのです。

<約束を守る練習>

・朝決められた時間に学校に来ること(遅刻しないこと)。

・提出物を期日までに出すこと

(出せそうにないときには事前に相談に行く。守れなかったときには謝ってすぐに提出する)

・テストを受ける(決められた日までに計画的に勉強をして、できるようにしておく)

・先生から呼び出されたときには時間どおりに行く(都合が悪いときには事前に言いに行く)

・借りたものは返す(図書館の本 保健室で借りた生理用品やタオル。友だちの教科書など)

・友だちとの約束を守る

<丁寧に仕事をする練習>

・提出するプリントやテストを、丁寧に書く。作品等は丁寧に仕上げる

・委員会や係の仕事、掃除当番をさぼったり、いいかげんにやらない

<話を聞く練習>

・毎日の授業で長時間話を聞く

・講師を招いての講演会や研修会で、話す人の顔を見て聞く

・友だちや先生との日常会話(相手の話を聞く)



3年生に進級しているみんなは、この練習をひとつひとつがんばってきた人たちです。まだ練習不足の部分もありますが、それはこれからの面接練習などをすれば大丈夫！自信を持ちましょう。

そして1・2年生は、毎日の積み重ねが進級卒業に結びつき、やがては社会人として大切な「信用」につながるので、毎日の学校生活で「練習」を積んでいってくださいね。